

鈴鹿サーキット

2016年の活動内容について

MENU

- 2016年主要レース・イベント カレンダー P. 2
- 2016年に鈴鹿サーキットで開催されるレース・イベント P. 3
- 鈴鹿サーキットレーシングスクール(SRS) P. 9
- さらなる進化を続ける、モビリティテーマパーク 鈴鹿サーキット P. 10
- 台湾・高雄市に建設中の「SUZUKA CIRCUIT PARK」について P. 11

2016年主要レース・イベント カレンダー

2016年、鈴鹿サーキットは自動車レースの世界最高峰「F1世界選手権シリーズ 日本グランプリレース」、世界で最も過酷なバイクレースのひとつとされる「コカ・コーラ ゼロ」鈴鹿8時間耐久ロードレース」という2つのビッグイベントを柱に、年間40以上のレースを開催いたします。

日程	主要レース・イベント	掲載ページ
4月23日・24日	2016 NGKスパークプラグ 鈴鹿2&4レース 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 鈴鹿サーキット 2016 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第2戦(JSB1000)	P.3
4月30日	BIKE! BIKE! BIKE!	P.4
6月3日～5日	2016 FIMアジアロードレース選手権シリーズ 日本ラウンド	P.4
6月11日・12日	スーパー耐久シリーズ2016 第3戦 SUZUKA“S耐”サバイバル	P.4
7月28日～31日	2016 FIM世界耐久選手権シリーズ第3戦 “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第39回大会	P.5
8月5日・6日	FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2016	P.6
8月7日	2016 Ene-1 GP SUZUKA	P.6
8月27日・28日	2016 AUTOBACS SUPER GT Round6 第45回 インターナショナル SUZUKA 1000km	P.6
10月7日～9日	2016 FIA F1世界選手権シリーズ 日本グランプリレース	P.7
10月29日・30日	2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回JAF鈴鹿グランプリ	P.8
11月5日・6日	2016 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 最終戦 第48回 MFJ グランプリ スーパーバイクレースin鈴鹿	P.8
11月19日・20日	SUZUKA Sound of ENGINE 2016	P.9

レース実況を地元FMラジオ局で生放送



鈴鹿サーキットで開催されるビッグイベント5レースを鈴鹿市のFMラジオ局「Suzuka Voice FM 78.3MHz」で生放送します。観客席はもちろん、鈴鹿インターチェンジをはじめ、鈴鹿市内全域でクリアな音声による実況放送を聴くことができます。放送はメインカテゴリーのフリー走行、予選、決勝を予定しており、初心者からベテランレースファンまで分かりやすく、楽しめる実況を行います。ぜひラジオをご持参の上、ご来場ください。

Suzuka Voice FM 78.3MHz 生放送実施レース	
レース	開催日
2016 NGKスパークプラグ 鈴鹿2&4レース	4月23日・24日
2016 FIM世界耐久選手権シリーズ第3戦“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第39回大会	7月28日～31日
2016 AUTOBACS SUPER GT Round6 第45回 インターナショナル SUZUKA 1000km	8月27日・28日
2016 FIA F1世界選手権シリーズ 日本グランプリレース	10月7日～9日
2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回JAF鈴鹿グランプリ	10月29日・30日

株式会社 モビリティランド **鈴鹿サーキット**

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

2016年に鈴鹿サーキットで開催されるレース・イベント

開催日：4月23日(土)・24日(日)

2016 NGKスパークプラグ 鈴鹿2&4レース



2輪、4輪の国内最高峰レースが同日開催

国内ビッグレースの開幕として恒例となった2輪、4輪のトップレースの競演で、今年は創立80周年を迎える総合セラミックスメーカーで、モータースポーツにおいても世界の様々なレースで多くのマシンをサポートする日本特殊陶業株式会社様の冠スポンサーが決定。その名も新たに「2016 NGKスパークプラグ 鈴鹿2&4レース」としてJSB1000とスーパーフォーミュラ、2輪、4輪の国内トップカテゴリーが同日開催されます。

スーパーフォーミュラはヨコハマタイヤのワンメイクに。若き精鋭S・バンドーン、関口雄飛が参戦



ヨコハマタイヤのワンメイクとなる
スーパーフォーミュラ

今年は新たにヨコハマタイヤのワンメイクとなり、そのパフォーマンスが注目されていますが、昨年を上回るハイスピードバトル、まさにF1に迫るほどの速さのレース展開も大いに期待できそうです。

スーパーフォーミュラには海外の有力選手が多数参戦しており、今年は、昨年のGP2チャンピオンで、F1マクラーレン・ホンダチームのテスト&リザーブドライバーも務めるF1に限りなく近い男、ストフェル・バンドーンの参戦が決定。さらにはSUPER GTで活躍する関口雄飛も参戦します。元F1ドライバーの中嶋一貴、F1で表彰台にも登った小林可梦偉、昨年その実力を開花させた遅咲きのチャンピオン石浦宏明らに加え、海外の強豪選手との対決が大いに注目されています。

JSB1000は200km耐久に。“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐前哨戦としての注目の戦い



JSB1000、中須賀克行の走り

JSB1000は今シーズンの開幕戦であり、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレースの前哨戦として、今年は200km耐久で争われます。選抜レース「8耐トライアウト」が行われ、ここで規定順位に入ることが鈴鹿8耐にエントリーできる条件となります。ヤマハの中須賀克行は、今季は7度目のチャンピオンを目指し、さらには鈴鹿8耐連覇に挑む戦いがここから始まります。打倒中須賀に燃えるライバルたちとの攻防に期待が高まります。

家族で楽しめるイベント「Enjoy Honda 2016鈴鹿」を同日開催

Enjoy Honda
2016

2016 4.23 SAT. 24 SUN. 鈴鹿サーキット



マクラーレン・ホンダ MP4-30
(2015年F1日本グランプリにて)

グランドスタンド裏のイベント会場では、家族みんなで楽しめるイベント「Enjoy Honda 2016鈴鹿」も併催されます。昨年2008年以来7年ぶりにF1に復帰したHondaのパワーユニットを搭載するマクラーレン・ホンダ MP4-30を始め、Hondaエンジンを搭載した歴代のF1マシンを展示。長年活躍してきたHondaF1の歴史を間近に感じることができます。

チケット好評販売中 全席自由席：大人4,000円～

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

開催日：4月30日(土)

BIKE! BIKE! BIKE!

国際レーシングコースのツーリング目標距離は80,000km!
モリワキファンフェスタも併催され、過去最大規模で開催



2015年の様子

BIKE! BIKE! BIKE!は、バイクやレース初心者の方にも、バイクの楽しさを感じていただくイベントとして、2012年よりゴールデンウィークに毎年開催しています。“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐が開催されている国際レーシングコースを、ご自身のバイクで走行できるイベント「もっと！鈴鹿サーキットを走りつくせ！地球2周！鈴鹿サーキット80,000kmクルージング」は、目標距離が昨年の倍の80,000kmとなり、さらには参加全ライダーによる大規模なフィナーレパレードが行われ、過去最大規模での開催となります。

また当日は「モリワキファンフェスタ with BIKE! BIKE! BIKE!」も開催。歴史的なモリワキマシンの展示などのイベントが行われます。

チケット発売中 バイク1台1,800円

開催日：6月3日(金)～5日(日)

2016 FIMアジアロードレース選手権シリーズ 日本ラウンド

アジアを転戦する最高峰の戦いは、今年も未知なる才能の宝庫。新たなスター誕生の予感



2015年 表彰式のワンシーン

1996年にスタートしたアジア最高峰の戦いがアジアロードレース選手権(ARRC)で、アジア各国を転戦して全6戦が開催されます。最上位クラスはスーパースポーツ600cc(SS600)。アジア特有のアンダーボーン130ccに加え、2015年から250ccのスポーツバイクをベースとしたアジアプロダクション250(AP250)が加わり、また、Hondaアジアドリームカップやスズキアジアチャレンジなどのワンメイクレースも併催されています。SS600の歴代チャンピオンには2011年藤原克昭、2012年清成龍一らが名を連ね、昨年は高橋裕紀が頂点に立ちました。2013年のSS600チャンピオン、アズラン・シャー・カマルザマンは2014年から2輪世界選手権Moto2™クラスに参戦しており、今年も未知なる才能の宝庫として注目されています。

開催日：6月11日(土)・12日(日)

スーパー耐久シリーズ2016 第3戦 SUZUKA“S耐”サバイバル

史上最多、65台がエントリー。鈴鹿ラウンドは予選勝ち抜き方式と夜間走行、2つの新たな試みで開催



2015年のスタートシーン

エンジン排気量や駆動方式の違いによって6クラスに分けられ、多種多様な車両がバトルをくり広げるスーパー耐久。第3戦の鈴鹿ラウンドはスーパー耐久初の試みとして、各クラスの予選上位を選抜。さらに予選落ちしたチームで争われる敗者復活レース「セカンドチャンス100」(100分間レース)を勝ち抜ければ決勝進出が可能となります。選ばれしチームによる4時間レースのゴールは日没後となり、距離感をつかみにくい夕闇の中でミスをしないうドライビングが必要となります。予選、決勝ともに、生き残りをかけたサバイバルレースとなります。

今年には最高峰クラスST-Xが、昨年の8台から12台に増加。NISSAN GT-Rを筆頭にメルセデスSLS、BMW Z4、フェラーリが参戦。迫力満点の戦いが繰り広げられそうです。

4月10日(日)チケット発売開始 全席自由席：大人4,000円～

株式会社 モビリティランド **鈴鹿サーキット**

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

開催日：7月28日(木)～31日(日)

2016 FIM世界耐久選手権シリーズ第3戦 "コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8時間耐久ロードレース 第39回大会



昨年はヤマハが19年ぶりの優勝 真夏の過酷な耐久レースに今年も世界のトップライダーが結集

1978年の初開催以来39回目の大会を迎える国内最大級のバイクイベントは、1984年から日本コカ・コーラ株式会社が冠スポンサーとなり、今年も"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8時間耐久ロードレースとして開催されます。昨年はヤマハがワークスチームを復活させ、MotoGP™ライダーのポール・エスパルガロ、ブラッドリー・スミスを起用し、中須賀克行とのトリオで19年ぶりの優勝を飾りました。またHondaは元MotoGP™王者のケーシー・ストーナーを参戦させハイレベルの戦いを繰り広げました。今年も世界のトップライダーの参戦が期待されます。すでにワークス参戦を発表したヤマハ、勝利奪回を狙うHonda、ニューマシンを投入するカワサキ、2009年以来の優勝を目指すヨシムラスズキの、各陣営の体制が注目されます。



MotoGP™ライダー、ポール・エスパルガロの走り



2015年の表彰式

"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐が世界への扉を開ける 世界耐久参戦チーム、新鋭アジアライダーも多数エントリー



2015年序盤のトップ争い(イメージ)

"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐は世界耐久シリーズの第3戦に組み込まれており、世界耐久タイトル獲得を目指す海外チームが多数参戦。国内4メーカーのみならず海外メーカーもエントリーし、さらにハイレベルな戦いが繰り広げられます。

今年は鈴鹿8耐3勝のトップチームTSRがル・マン24時間(4月9日・10日)に参戦。またアジアのライダーが鈴鹿8耐での活躍を足掛かりに世界へ挑むなど、鈴鹿8耐から世界に飛び出すチーム・ライダーが出てきました。

今季から昨年の決勝20位以内とトップ10トライアルに出場したチームにシード権が与えられ、それ以外のチームは選抜レースで規定順位以内に入ることが必要になりました。選ばれし者たちの戦いという側面を持つことになり、例年にも増して熱く激しい戦いとなりそうです。

5月7日(土)チケット販売開始 観戦券：大人5,700円～

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

開催日:8月5日(金)・6日(土)

FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2016



2015年のレースシーン

今年25回目の開催。歴史と伝統を誇る国際格式のソーラーカーレース

ソーラーカーレースは1992年の初開催以来、今年で25回目となる長い歴史を持つ国際格式のレース。太陽電池で発電したエネルギーを動力源にした耐久レースを行うもので、一般・大学生チームに加え高校、高等専門学校チームも多数参加しています。ソーラーパネルの出力などで5つのクラスに分かれ、5時間、4時間の耐久レースが行われます。

開催日:8月7日(日)

2016 Ene-1 GP SUZUKA

充電式単三電池40本をエネルギー源にフルコースアタック3回の合計タイムで競うKV-40チャレンジ



2015年の走行シーン

Ene-1GPIは参加者が制作した手作りのオリジナル車両を使用。充電式単三電池40本だけで鈴鹿サーキットフルコースのタイムアタックを3回行い、その合計タイムで競う「KV-40チャレンジ」と、鈴鹿サーキット東コースを使用し「ONE LAPタイムアタック」と「e-kiden 60分ロングディスタンス」の合計ポイントで争う「KV-BIKEチャレンジ」の、2つのカテゴリーが開催され、両クラスとも速い速度を維持しての完走を目指し、高度なエネルギーマネジメントが重要となります。

2015年、KV-40チャレンジには85チームが参加。中学生チームも6チーム参加しました。

開催日:8月27日(土)・28日(日)

2016 AUTOBACS SUPER GT Round6 第45回 インターナショナル SUZUKA 1000km

シリーズ中最長の特別な戦い。GT500クラスは世界を代表する3メーカーが威信をかけて臨む



過去のSUZUKA 1000kmスタートシーン

Honda、TOYOTA、NISSAN、日本を代表する3メーカーが威信をかけて参戦するSUPER GTシリーズは、その戦いのレベルの高さ、激しさゆえに国内で最も人気があり、同時に世界が注目するレースです。今年も全8戦で戦われますが、その中でもSUZUKA1000kmは距離が通常レースの2倍以上の耐久レースとなる特別な一戦です。

新型車両参入のGT3マシンと国産GTマシンの対決が激化するGT300クラス



GT300クラス BMW

GT300クラスはフェラーリ、ランボルギーニ、メルセデス、BMW、ポルシェ、アウディなどのGT-3マシンが續々投入され、国際色豊かなエントリーに。そこに共通のオリジナルシャーシを使用したトヨタ86、ロータス。さらには国産のGT-R、プリウスなどをレース仕様としたマシンとの対決が注目されています。

6月18日(土)チケット発売開始 観戦券:大人5,700円~

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

開催日:10月7日(金)~9日(日)

2016 FIA F1世界選手権シリーズ 日本グランプリレース

THE 1 AND ONLY

SUZUKA 2016 GRAND PRIX

**開幕前テストはメルセデスのライバルたちが好調な結果に。
テスト5日目に3番手タイムを記録したマクラーレン・ホンダの躍進に期待**



マクラーレン・ホンダ
(2016年開幕前テストの様子)

合計8日間行われた2016年の開幕前テストでは、フェラーリ、レッドブル、ウィリアムズ、フォースインディアが絶好調。また6年ぶりにワークスチームとして復帰するルノーも好調な仕上がりをみせています。これらのチームが強豪メルセデスに対しどんな戦いを見せるのか、注目が集まっています。またマクラーレン・ホンダも5日目に3番手タイムを記録。Hondaの八郷社長は記者会見で「予選で10位以内に入って決勝に臨むという形を、安定的にやっていきたい」とコメントしており、2016年シーズンの大躍進が期待されています。

**「THE 1 AND ONLY ファンのために。ファンとともに。」
世界中のファンから愛される“SUZUKA”を目指して...**



トークショーでのファンとの交流を
楽しむルイス・ハミルトン

特別ピットウォーク、東コースウォーク、全ドライバーが参加するサイン会、F1ドライバーが登場してのトークショーなど、F1ドライバーとファンが近づけるイベントを多数開催いたします。さらには決勝レース翌日にもF1の余韻を楽しめるトークショーやプレイバック上映、コースウォークなど、世界を転戦するF1グランプリの中でも、鈴鹿サーキットでしか味わえないイベントを開催し、世界で唯一の鈴鹿F1日本グランプリを、ファンの皆様とともに盛り上げていきます。また、国内のファンのみならず、海外からご来場いただくファンにもお楽しみいただけるように情報発信してまいります。

観戦チケット好評発売中

**Honda応援席などの企画チケットは3月20日(日・祝)より、
西エリアチケットは7月10日(日)より販売開始**

2016年のF1日本グランプリ観戦チケットは、3月6日(日)10時より一般全指定席(企画チケットを除く)、駐車場セット券の販売を開始し、すでにグランドスタンド上段の人気エリアが完売いたしました。3月20日(日・祝)10時からHonda応援席、レディースシート、カメラマンエリアチケット、ファミリーシート、アウトレットシートの販売を開始。7月10日(日)からは西エリアおよび金曜日券を販売いたします。

株式会社 モビリティランド **鈴鹿サーキット**

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

開催日：10月29日(土)・30日(日)

2016年 全日本選手権 スーパーフォーミュラ最終戦 第15回JAF鈴鹿グランプリ



周回数の違う2レース制が波乱を呼ぶ！今年も伝統の一戦でチャンピオンが決まる！



2015年最終戦で
チャンピオンを決めた石浦宏明

スーパーフォーミュラ最終戦は今年も伝統のJAF鈴鹿グランプリとして開催されます。さらに周回数の異なる2レース制がチャンピオン争いに大きな影響を与え、近年最後の最後まで目の離せない展開が繰り返されています。昨年は中嶋一貴、アンドレ・ロツテラー、ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラとの激戦を制して石浦宏明が初のチャンピオンを獲得しましたが、彼らに加え昨年F1から国内に復帰した小林可梦偉、チャンピオン経験者の山本尚貴も健在。新鋭ストフェル・バンドーンも加われば、昨年を上回る接戦は確実で、JAF鈴鹿グランプリがタイトル決定の舞台となりそうです。

今年も『TOYOTA GAZOO Racing PARK』を開催予定



2015年のTOYOTA GAZOO Racing PARK
の様子

昨年、イベント会場全域で展開された『TOYOTA GAZOO Racing PARK』の開催を今年も予定しています。さらに、今最も盛り上がっているワンメイクレース、86/BRZ Race最終戦が同日開催されます。レースファンはもちろん、お子さまにも楽しんでいただけるイベントが盛りだくさんなので、ファミリーでレース観戦を楽しんでいただけます。

9月4日(日)チケット発売開始 全席自由席：大人4,000円～

開催日：11月5日(土)・6日(日)

2016 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 最終戦 第48回 MFJ グランプリ スーパーバイクレースin鈴鹿

5連覇、7度目のタイトルに挑む中須賀克行。JSB1000は2レース制、最大58ポイント



2015年のレースシーン

全日本ロードレース最終戦は第48回MFJグランプリ。JSB1000は2レース制で争われ、昨年4連覇を飾ったヤマハの中須賀克行が5連覇、7度目のタイトルという偉業を成し遂げるかに注目が集まっています。J-GP2、J-GP3、ST-600、また今年新設されたJP250も最終戦となり、JP250の初代チャンピオンを含め、多くのクラスでこの鈴鹿最終戦がチャンピオン決定の舞台となることが予想されます。

9月11日(日)チケット発売開始 全席自由席：大人3,600円～

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

開催日：11月19日(土)・20日(日)

SUZUKA Sound of ENGINE 2016

往年の名車が多数参加。懐かしのエンジン音を轟かせて国際レーシングコースを疾走

日本初の本格的な国際レーシングコースとして開場し、50年以上に渡りレースを開催してきた鈴鹿サーキット。この間、日本のモータースポーツは世界に肩を並べるまでに成長してきました。この歴史的価値を絶やすことなく維持し続けるために、昨年初めて開催されたヒストリックイベントが「SUZUKA Sound of ENGINE」です。自動車、バイクへの興味喚起とモータースポーツへの憧れを持っていただくことを目指し、国内外から往年の名車が鈴鹿サーキットに結集し、懐かしのエンジン音を轟かせました。今年もさらに歴史的価値のある旧車、名車を多数招聘し、多彩なゲストの方たちとともに大いなる歴史を振り返ります。



2015年の様子。左からグループCカーデモラン、ゲストライダーによるデモラン、旧車・名車の展示

9月25日(日)チケット発売開始 1Day: 大人2,500円～ 2Day: 大人3,500円

鈴鹿サーキットレーシングスクール(SRS)

鈴鹿サーキットレーシングスクール Moto(SRS-Moto)



岡田忠之校長(左)ら、MotoGP™で活躍した経験を持つ講師陣

今年、2輪のスクールをSRS-Motoへとリニューアルし、ロードレース世界選手権(MotoGP™)で活躍した岡田忠之氏を新校長に迎え、世界トップレベルの2輪レースで活躍できる人材の育成を目指します。また、新たにスカラシップ制度(奨学制度)を導入し、成績優秀な生徒は本スクールが運営するレーシングチーム「TEAM SRS-Moto」で2017年シーズンからMFJ全日本ロードレース選手権に参戦。実戦の中でトレーニングを行います。

SRS-Motoは3月29日(火)に開校。今年度は、9歳から16歳まで19人の生徒が受講します。

鈴鹿サーキットレーシングスクール フォーミュラ(SRS-Formula)



卒業生の松下信治選手

世界トップレベルの4輪レースで活躍できる人材育成を続けるSRS-Formulaは、1995年の開校以来、佐藤琢磨選手をはじめ多くのトップドライバーを輩出してきました。今年度は、松下信治選手がGP2シリーズ参戦2年目、GP3シリーズに福住仁嶺選手が参戦するなど、SRS-Formula出身の若手選手の世界での活躍が期待されます。

SRS-Formulaは3月29日(火)に開校。今年度は、15歳から19歳まで8人の生徒が受講します。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

さらなる進化を続ける、モビリティテーマパーク 鈴鹿サーキット

できた!の数だけ、大きくなれる。

世界初!※1 F1開催コースを走るEVアトラクション 「Circuit Challenger(サーキットチャレンジャー)」

※1 当社調べ



3月19日(土)オープン

3月19日(土)、F1日本グランプリを開催する国際レーシングコースを舞台に、先端技術を搭載したEVマシンを操り、その運転テクニックが様々な視点から解析された「走行結果」を残すことのできる新感覚のアトラクション「Circuit Challenger(サーキットチャレンジャー)」をオープンいたします。

この「サーキットチャレンジャー」は、「子どもの頃からモータースポーツの楽しさに触れることで、未来のモビリティファンになっていただきたい」という思いを込め、レーシングドライバー佐藤琢磨選手をプロジェクトアドバイザーに迎え開発いたしました。



操作方法

アクセルは右手で操作
ハンドル右奥の青いレバーを握り加速。



ブレーキは左手で操作
ブレーキはハンドル左奥の赤いレバー。



シフトチェンジは左手の指で
ハンドル左についているボタンで、シフトチェンジ。



佐藤琢磨選手

走行後には走行データを記録した結果表を発行

マシンにセットした記録カードをデータステーションに挿入すると、4つのミッションに対するスコアやラップタイムなどのデータが記録シートで出力されます。



サーキットチャレンジャーをより楽しめるスマートフォン用アプリが登場!

サーキットチャレンジャーをより楽しめる機能を搭載した、鈴鹿サーキットのスマートフォン用公式アプリが登場。リザルトデータについているQRコードを読み込めば「過去の挑戦の記録」、「より高得点を狙うための攻略情報」、そして「ランキング表示」などを見ることができます。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



台湾・高雄市に建設中の「SUZUKA CIRCUIT PARK」について



イメージパース



株式会社モビリティランドが「鈴鹿サーキット」のライセンスを提供し、台湾の大魯閣エンターテイメント股份有限公司が建設、運営するアミューズメント施設「SUZUKA CIRCUIT PARK」と、当施設が併設される大型商業施設「大魯閣草衙道 (Taroko Park Kaohsiung)」が、台湾・高雄市に今年オープンします。

SUZUKA CIRCUIT PARKには、鈴鹿サーキット国際レーシングコースと同じレイアウトの、全長約600mのコースを走るレンタルカートや、モビリティランドオリジナルの遊技機種が導入されます。パーク内には、遊びを通して様々なチャレンジができる仕掛けが用意されており、鈴鹿サーキットの「ゆうえんちモートピア」の理念とノウハウが活かされています。

また、隣接のショッピングモール「大魯閣草衙道 (Taroko Park Kaohsiung)」には、約200社のテナントをはじめ、台湾初のスポーツテーマパーク大型複合スポーツ施設「WeSport」やシネマコンプレックスも入り、台湾のライフスタイルに最もフィットする商業施設となります。

当施設は高雄国際空港から地下鉄(高雄MRT)で1駅の草衙駅に近接し、最寄り的高速道路出口から250mと、公共交通機関、マイカーともにアクセスの良いエリアに位置します。台北駅からも台湾新幹線でおよそ90分で、国内外から多数の来客が期待されています。

なお、開業日は決定次第、改めてご案内いたします。

施設概要

施設名	: 大魯閣草衙道 (Taroko Park Kaohsiung)
アクセス	: 高雄国際空港より地下鉄高雄MRTで3分(草衙駅下車)
総面積	: 約86,000平方メートル
エリア構成	: ・SUZUKA CIRCUIT PARK ・屋外型ショッピングエリア、レストラン ・3階建て商業棟(屋内外ショッピングエリア、レストラン) ・屋内アミューズメント(スポーツ施設、ファミリーアミューズメント、シネマコンプレックス他)
建設・運営	: 大魯閣開発股份有限公司(本社:台湾・台北市)